

レインボー通信

6月号

2025年6月14日つくばみらい市読み聞かせ「虹の会」発行



7月のおはなし会

とき：7月12日（土）午後2時～2時30分

☆ところ：みらい図書館 supported by 成島建設

つくばみらい市立図書館 本館 おはなし室（1階）

プログラム



① わらべうた「いちじく にんじん」

② 絵本「ここよ ここよ」 かんざわとしこ/ぶん やぶうちまさゆき/え

福音館書店

③ 絵本「ふたりは いつも ともだち」 もいちくみこ/作

つちだよしはる/絵 金の星社

④ パネルシアター「たなばた」 日本幼年教育研究会/著 たじまじろう/画

株式会社メイト

⑤ わらべうた「たまりやねずみ」

担当：横田、横山 次回は8/9（土）です。

—☆—☆—☆—☆—☆—☆—

主催：読み聞かせ「虹の会」

5月の小学校・保育園など訪問読み聞かせ

【豊小】5/7（水）12:55～13:10

（4年生）南

E ふしぎな たけのこ 松野正子/さく 瀬川康男/え 福音館書店

E ゆうたの ゆめをみる きたやまようこ/作 あかね書房

♣ 1966年初版で、村人たちは百年海を見たことがなく貧しい暮らしをしていたが、「たろ」がつかまったたけのこがぐんぐん伸びて、最後に海にたおれたおかげで道に迷わず海にくようになり、村が繁盛したというお話です。

（5年生）伊藤

M あくびが出るほどおもしろい話 松岡享子/作

「ついでにペロリ愛蔵版おはなしのろうそく3」東京子ども図書館編

O ラプンツェル ドイツの昔話 「子どもに語るグリムの昔話3」

佐々梨代子・野村滋/訳 こぐま社

♣ お話は、男の子も女の子も最後まで集中して、とてもよく 聞いていました。

(6年生) 杉江

E 桃源郷物語 松居直/文 蔡皋/絵 福音館書籍

●中国の晋の時代(4世紀)のお話。貧しい漁師が舟を出して、川上を上っていきますと、山奥の美しい景色の中に迷い込んでしまいます。その土地の人々は、身なりは質素ですが、皆が仲良く助けあい落ち着いた暮らしをしています。家々で温かいもてなしを受け、数日の後、漁師は自分の家に戻ります。もう一度あの地へ行こうとしましたが、行く道がわからなくなっています。美しい絵の中にヒントが潜んでいます。

【豊小】5/28(水) 12:55~13:10

(1年生) 鈴木

E えらいこっちゃ はじめてのプール 文/かさいまり 絵/ゆーちみえこ アリス館

S あいうえお 作/あらいたけこ

●絵本に出てくる男の子は1年生。初めてのプールでハラハラドキドキ、いろいろな事が起きる様子を見て、教室の子どもたちは楽しんでいました。

「あいうえお」の詩は一緒に声を出して読みました。

(2年生) 永田

E ありがとうのきもち 柴田愛子/文 長野ヒデ子/絵 ポプラ社

BBぴょーん まつおかたつひで ポプラ社

●プレゼントには「ありがとう」の気持ちが入っています。あーちゃんからありがとうカードをもらったあきのところは・・・。

(3年生) 寺田

E ねこのえきちょうさん たま 羽尻利門 金の星社

E 木のまつり 新美南吉/作 鈴木靖将/絵 新樹社

●ほっこり、ゆったりした感じを絵本を通じて伝えたいと思い選びました。たまちゃんが、「にゃー!」と言いながら駅長の仕事をしていたり、ほたるが祭りに参加していたり、の場面を楽しんでいるように感じました。



【伊奈東小】5/8(木) 13:00~13:15

(3の1) 石塚

E きんいろのしか バングラディッシュの昔話 ジャラルル・アーメイド/案

石井桃子/再話 秋野不矩/画 福音館書店

●教室に入ると、なりたての3年生は小さく見えて、用意した絵本が心配になってきました。しかし、読み進めているうちに、子ども達がしっかり聞いているのが見えてきました。読み終わると「面白かった!」と、男子の声が二つ三つ。「王様、やられちゃった」と言う子もいて、私は、子ども達がお話を聞き、楽しんでくれたのだと、うれしくなりました。この絵本は4年生以上と思っていた私は、子ども達の意外な力をみました。

(3の2) 蛸原

BBサンドイッチ・サンドイッチ

小西英子/さく

福音館書店

E こいぬのパッチと ちいさいねこ

作/デイビット・メリング 訳/なかがわちひろ

小学館

●ひとつひとつ具材をのせて出来上がっていくサンドイッチに、子どもたちの歓声もあがり、出来上がったサンドイッチに「おいしそう」の声。もう1冊の絵本も、読んでいくうちに子どもたちの笑い声。読み手も子どもたちの笑顔に喜びを感じました。

(4の1) 鈴木

E 落語絵本はつてんじん

川端誠

クレヨンハウス

●悪さばかりして親を困らせる息子、金坊。「あれ買って・・・これ買って・・・」とおねだりする金坊と父親のかけあいが面白く、笑ってしまう絵本です。話が進むにつれ、静かな中に時々笑いもあり、楽しい時間でした。

(4の2) 東郷

E どんなかんじかなあ

中山千夏/ぶん

和田誠/え

自由国民社

E なんと ニャンコ うんこ 4こ!

さく/おおたにけんた

文響社

●毎年4年生に読んでいる「どんなかんじかなあ」。クラスによって様々な反応が見られるのが面白いです。もう1冊は早口ことば絵本で、みんなでクスクス笑いながら読みました。



【伊奈小】5/9 (金) 8:30~8:45

(3の1) 伊藤

M あくびが出るほどおもしろい話

1ページに同じ

O 七わのカラス ドイツの昔話

「子どもに語るグリムの昔話3」1ページに同じ

●始めのお話(朗読)では、子どもたちは笑いのツボにはまって「真逆だよ」の声も上がり、喜んでいました。2話め、今日は「七わのからす」が、こんなにいいお話だったのかと、あらためて子どもたちに教えられました。最後、子どもたちが、みんなやさしい笑顔になっていました。

(3の2) 飯泉

E だいこんどのむかし

渡辺節子/ぶん

二俣英五郎/え

ほるぷ出版

E おおかみぺこぺこ

宮田達也

学習研究社

●厄介者扱いされただいこん殿の切ない話です。日本の昔話ですが、ロシア民話「おおきなかぶ」と似た場面があります。一方、だいこんを食べるおおかみの話には、子どもたちは声を上げて笑っていました。両方だいこんの話でしたが、おおかみ話の方が面白かったとの声でした。

(4年生) 石塚

E きんいろのしか バングラディッシュの昔話 前ページと同じ

●伊奈東小の3年生に読んだ同じ絵本を読みました。静かによく聞いていました。帰り際に座っていた女子に「どうだった?」と聞いてみると、「面白かった」と言っていました。主人公のホセンがどうなるかと、子どもたちは聞いているのですね。ホセン=自分になって冒険を楽しんでいるようです。絵が想像力を助けます。

社会福祉法人

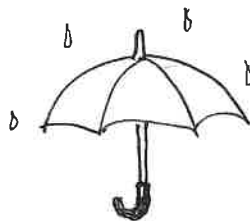
【ゆっくら】5/21(水) 10:30~11:00

(利用者とスタッフ) 8人 鈴木、杉江

E すみれ島 今西祐行/文 松本慎郎/絵 偕成社

E かさどろぼう シビル・ウェッタシンハ/作・絵 いのくまようこ/訳

●戦時中、特攻隊の出撃地では、地元の小学生との交流がありました。戦後、南の海の小さな島にひっそりとすみれが咲きました。・・・読後、「すみれの花言葉は?」の質問にスタッフが調べてくれました。「謙虚」「誠実」「小さな幸せ」よけいに悲しくなりました。2話目は、傘を買っても買っても盗まれてれてしまう、ユーモラスで楽しいお話でした。



5月31日(土)特別開催!

市民活動団体ワークショップ in 市民活動まちづくりセンター **参加しました**

雨天のため、たかさごマルシェから変更になりました

☆たかさごマルシェのミニ版でしたが、なかなか良かったと思います。子どもを主役にしたイベントで、おはなし会以外にも楽しいコーナーがあって、雨の日のひととき、楽しく過ごせたのではないのでしょうか。おはなし会のお部屋も、マイクを使わず肉声で伝えられてよかったです。次の機会には、会場のイメージもわかりましたので、もう少し違った何かが用意できるかもしれませんね。子どもあつての「おはなし会」、たくさんきてくれてうれしかったですね。(石塚)

☆お天気の悪い中、予想以上にたくさんの親子連れが集まり一緒に楽しめました。(伊藤)

☆雨天のため、場所の変更で人は少ないかなと思っていましたが、たくさんの親子さんの参加でうれしかったです。(海保)

☆呼び込みなど、もう少し工夫したい。(東郷)

☆狭い場所で周りの様子が気になりながらも、来てくれた子どもたちと楽しい時間を共有出来て感謝します。もう少し興味を惹きつけるものがあつたらと思いました。(蛭原)

☆楽しいひとときを過ごすことができました。雨天の中、思ったよりたくさん子ども達が来場してビックリしましたが、よかったです。(福井)

時間・担当	プログラム	参加者数
10:00～ 10:30 福井、東郷 寺田、海保	パネルシアター「やさいの うた」 BB「おやおや、おやさい」 石津ちひろ・文 	

♪おいでおいで
おいでおいでパンダ♪
よびこみ、たくさん
ありがとう！

「ぴょーん」
カエルさんと一緒に
ぴょーんと飛ぶ子
お母さんがぴょーんと
お子さんを高く抱き上げてたね。

「はじめてのおつかい」
さっきまで笑顔の子が
真剣な緊張の表情。
自分のこととして心配で
はらはらしていたね。

どのお話にも 心をいっぱい動かして、笑ったり声をあげたり、しっかり見て聞いている子どもたちの姿は、本当に素晴らしい!! (杉江)

☆ 初めての場所での試みでも、お子さんたちが楽しい時間をすごせたように思います。
(寺田)

2025 年（令和 7 年）度 読み聞かせ「虹の会」定期総会を行いました

5 月 10 日（土）市立図書館視聴覚室にて、定期総会が開かれました。司会は飯泉さん、14 人の出席をもって成立いたしました。（定足数 11 人）

✿ 石塚会長のあいさつ

新年度のスタートです。昨年は、伊藤忠記念財団の助成金を受け、ビッグブック、パネルシアター、パネルシアター用の機材、ワイヤレスマイクなどを購入できました。新たにパネルシアターに挑戦するメンバーも増え、新しい資料の活用が活発に行われています。さらに、今年度は、わらべ歌、手遊び、ペープサート、手袋人形なども学び合い、会員は 17 人と少ないながらも活動を広げていきたいと思っています。

✿ 来賓の舞山図書館長・ご挨拶

定期総会の開催をお喜び申しあげます。先ほど「おはなし会」を拝見させていただきました。子ども達の楽しそうな様子に、幸せな気持ちにさせていただきました。日頃の学校、保育園などでの読み聞かせ活動に感謝致します。そして今後の活躍を祈念致します。

✿ 議事は、鈴木議長のもと進行しました。

2024 年度の活動報告を、書記の倉田さんが行いました。昨年度は、訪問読み聞かせなど 75 回、毎月の図書館でのおはなし会、高砂マルシェ 5 月、9 月に参加、8 月には大畑先生を講師に「スキルアップ講座」、10 月は図書館祭り、11 月は文学散歩として「ゆいの森あらかわ」の図書館見学、等々振り返ることができました。

昨年度の決算報告が会計の永田さんからあり、会計監査の南さんから適正と加えられました。財団からの大きな金額の取り扱いに会計担当さんはご苦労様でした。拍手で確認。

次に 2025 年度の活動計画案を書記の杉江さんから提案、予算案を会計の伊藤さんから提案されました。拍手で確認。

2025 年度の役員選出はスムーズに決められました。

✿ 総会終了後、出席者全員で、谷川俊太郎の詩「春に」を読みました。1 行ずつ一人一人音読、全員で 2 周、最後に横山さんが「この気もちはなんだろう」と終わると、温かい空気が沸いていました。



二〇二五年（令和七年）度 読み聞かせ「虹の会」役員		会長	会計	書記	幹事	会計監査
		石塚 裕子	伊藤 千賀子	鈴木 美智子	杉江 その	倉田 菜穂子
					南 光子	海保 妙子
						永田 道子
						東郷 静香